

令和 6 年度 事業報告

社会福祉法人 横浜市社会事業協会
横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター

令和 6 年度 事 業 報 告 書

【施設概要】

名 称：社会福祉法人横浜市社会事業協会 横浜市鶴見区精神障害者生活支援センター
所在地：〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 28-4 ハーモニーとよおか 4 階
電 話：045-576-3173（一般相談回線）
045-576-3174（申込専用回線）
045-576-3170（自立生活アシスタント事業専用回線）
045-333-3171（横浜市退院サポート事業専用回線）
045-575-0551（事務専用、関係機関専用回線）
F A X：045-576-3172
E mail：tsurumi-s.c@ysjk.jp

I. 運営方針

令和 6 年度もこれまで同様に法人理念である「夢と希望のもてる誰もが住みやすい社会との架け橋を築く」ということを意識し、精神障害者の権利擁護の視点を大切にしなが運営致しました。地域生活拠点、精神障害者にも対応した包括ケアシステム、横浜市ピアスタッフモデル事業等、関係機関と連携し試行錯誤を繰り返し、さらなる充実に向けて取り組みを致しました。また、センター本来機能の 1 つである地域交流を通した普及啓発活動においても、コロナ感染症前の状況を目指し外部講師を積極的に活用する等行い活性化に努めてきました。

上記のことを重点に置き以下に、令和 6 年度の事業報告を示します。

II. 相談支援機能の整理と強化

基本（委託）相談支援※実績に関しては、別紙 1 参照

どのようなケースも受止めるということを大前提に他の事業では介入困難なケースに対してアウトリーチ活動を軸に支援致しました。未治療ケースや 8050 問題を抱えた世帯等に関係機関と共に訪問する等、障害福祉サービスに繋げる糸口となるよう継続した関りを重視しました。特に区内には、ごみ屋敷・虫の大量発生等の問題を抱えた世帯も多く時間をかけて整理し、他の事業に引き継ぐことを実施致しました。

（1）指定特定相談支援事業（計画相談支援）※実績に関しては、別紙 1 参照

職員の入替（異動、復職）を踏まえた上で、月次報告の体制化や区との協議の場の設定などの工夫を行い、新規受け入れができる仕組みを維持した結果、目標件数（100 名契約維持）達成に至りました。

また、区内他事業所のバックアップとしてセンター内の OJT に参加して頂き、業務効率や個別支援における助言や情報提供を図り、単独事業所の孤立化を防ぐことができました。

今後の課題については、毎年新設される加算に対し、制度理解を深めていきます。特に、地域

体制強化共同支援加算は市内でも導入事例が少く、鶴見区で前例を重ねていくことで制度のブラッシュアップを図っていきたいと考えています。

また、近年の利用者の高齢化を受けて介護保険移行ケースが増加する現状に対し、的確なタイミングでの移行がなされるように介護保険移行（見込み含む）ケースの把握を行い、区及びケアプラザとの連携強化を図っていきます。

（２） 自立生活援助事業・自立生活アシスタント事業※実績は、別紙１参照

今年度に終結をしたケースが 11 ケースあります。今後も、ケースワーク本来の形を意識しながら目標を振り返り、本人の夢と目標実現に向けて必要な福祉サービスが受けられよう支援していきたいと考えます。

課題としては、ケースワークが円滑になり、ご本人の目標実現がなされることは望ましいことではありますが、同時にコンスタントに新規契約を受け入れていかなければ、目安の契約件数をクリアすることが困難であるということです。また、関係機関より本事業の新規依頼がある中で、本事業の対象外であることも多く改めて他機関の本事業への理解を深めてもらうための普及啓発活動の必要性を感じています。これらの課題をクリアすることで、需要と供給のバランスが整うのではないかと考えており、引き継ぎ制度理解が深まるよう積極的に普及啓発にも取り組む所存です。

本事業の有効性は、障害福祉サービスの多様化、サービス提供事業所数の増加はあるものの、繋がるまでの支援が必要な利用者は潜在的にも多く存在する中で、他の事業では利用するための制約もあり介入困難な場合もある際に柔軟に対応できるところです。次年度は、区役所、関係機関への周知を改めて実施することにより本事業が必要な方の掘り起こしにも注力していきたいと考えています。

（３） 指定一般相談支援事業・退院サポート事業※実績に関しては、別紙１参照

区内精神科病院への普及啓発活動の再始動が前年度の課題だったため、鶴見区自立支援協議会の精神保健福祉部会へ課題提起し、新たに活動内容を検討しました。具体的な活動としては、入院患者様やご家族向けの社会資源紹介に関する冊子を作成し、病院ワーカーへ活用について説明した上で、実際に患者様への情報提供ツールとして活用を開始しました。

次年度の課題としては、入院早期からの退院支援開始と多職種連携による包括的支援の実施を定着化することが事業利用の拡大と浸透に繋がると考えています。そのために、まずは今年度の普及啓発活動の取り組みを活発化していくことを目標とし、入院患者様向けの事業説明会や生活支援センターの活用紹介を改めて院内で行う他、定期開催に繋げることで事業の浸透度を上げていきます。また、退院支援に携わる医療専門職の方々に向けても、実践的な情報を提供し続けていくことで、事業利用によるメリット（退院率 UP や再入院率の低下に繋がる等）を再認識する場とし、医療機関と地域支援機関の連携強化により切れ目のない支援体制を確立することを目指していきます。

III. 他機関連携・地域支援体制整備への取り組み

鶴見自立支援協議会の以下の部会等に職員を派遣致しました。

- ① 事務局（2名）
- ② 相談部会（2名）
- ③ 精神保健部会（2名）
- ④ 権利擁護部会（1名）
- ⑤ グループホーム連絡会（1名）
- ⑥ 障害者週間イベント実行委員会（広報1名、SNS委員会1名、イベント企画2名）

各部会において、基幹相談支援センターと共にファシリテーター役割を担い企画運営を行いました。特に初めての試みである障害者週間イベントでは、企画運営から当日の実働も含め基幹相談支援センターと中心的な役割を担い多くの市民の方々に障害理解を深める場の提供を行うことができました。

IV. 精神保健福祉に関する普及啓発活動

今年度も継続して以下の活動を行いました。加えて、前述したように障害者週間イベントを活用し、区内関係機関と共に障害理解を深めるための活動も実施致しました。

- ① 豊岡自治連合会との合同夏祭り開催
- ② 小学校との交流事業（夏祭り、ハロウィン、クリスマス会）
- ③ 地域ケアプラザとの連携（障害理解講座）
- ④ 障害者週間イベント（パネル展示、映画上映「梅切らぬバカ」）

いずれも多くの方々にご参加頂き、精神障害に対する理解を深める機会となりました。次年度も引き続き多くの方に正しい精神障害に関する理解ができるような普及啓発活動に積極的に取り組んでいきます。

V. 当事者との協働※別紙2参照

四季折々のイベントのみならず、外部講師を招き定期的なイベントを開催致しました。また、各職員が企画するイベントもコロナ感染症前のような状況に戻すことを目指し取り組みました。課題としては、外出イベント等は、敷居が高いのか新規参加者は少なく、参加者の固定化が見られました。次年度は、新規の方が参加しやすい内容をより工夫していきたいと考えています。

VI. 専門職としての資質向上

定例のスタッフミーティングにおいて、制度理解や権利擁護、虐待防止等を中心に担当制で講義を実施致しました。新人職員が資料をまとめ講義することで理解を深めたり、表現力を養う機会となりました。また、14年継続している区内の有志で構成されている事例検討会「うみやま会」にも事例を提出しました。さらに、横浜市精連や神奈川県精神保健福祉士協会等の職能団体の研修や活動にも積極的に参加し、ネットワークを拡げると共に専門家としての資質向上に努めました。

VII. その他

(1) 家族支援

毎月定例の家族会定例会に継続して参加しています。センター内での「家族による家族相談」の調整や後方支援、バスハイクの開催を共に行うなど、継続して良好な関係を築けています。そうした関係性の中で、引きこもり等 8050 問題への早期介入支援に繋がる等、実際の支援においても家族会との連携が重要になっています。今後も、家族会自体の高齢化の課題もありますが、より良い活動ができるよう協力を惜しむことなく取り組んでいく所存です。

(2) ピアスタッフモデル事業

令和 5 年度は、ピア活動に興味のある方を募り 3 名の方が、センターで働くことになりました。2 名の方は継続雇用が諸事情により安定しませんでした。令和 5 年 10 月からピアスタッフとして勤務している職員は、継続して安定して勤務できています。その中で、横浜市ピア推進事業の巡回相談とも連携をしながら、アウトリーチ支援や面談を行える状況になっています。また、国のピアサポート研修も修了し、ピアスタッフ本人及び事業所としてもピア活動への理解を深めることができました。

次年度は、ピアミーティングを開催する等さらに積極的にピア活動を実践していきたいと考えています。

(3) 人材育成への協力

精神保健福祉士援助実習、横浜市看護専門学校体験実習、公認心理士体験実習等の受入れを行いました。特に精神保健福祉士援助実習では、大学・専門学校合わせて 10 校（11 名）を受入れ致しました。その中で、現場希望の学生等を他区センターに紹介し人材育成のみならず各区センターで起きている人材確保困難な状況にも多少ながら貢献できたと考えています。

VIII. 令和 6 年度 運営実績報告

昨年度に引き続き新規登録される方の傾向としては、障害福祉サービスに繋がっていない方や継続利用が困難な方、住居環境や経済状態が厳しい状況の方がいますが、全体的には既存の登録者がセンターだけではなく、他の計画相談支援事業所に繋がっているケースも増え、基本相談件数に関しては、大きな変化は見受けられませんでした。今年度より、基本相談以外の事業に関しても、比較できるよう併せて本報告書で示させていただきます。

嘱託医相談においては、当日のキャンセルもありますが、申し込み自体が少ない状況です。推測ではありますが、時間帯（平日の日中）の課題があること、認知度の低下等が考えられます。時間帯に関しては、医師等の方々の診察時間外となりますので調整困難ですが、認知度の向上に関しては、呼称変更や SNS の活用などを具体的に検討していきたいと考えております。

別紙 1

(1) 登録者数及び来館者数 開所日数：324 日

登録者数	令和6年度登録	男性	51	名	全体	92	名
		女性	41	名			
	全登録者数	男性	731	名	全体	1361	名
		女性	630	名			
来館者数	本人	男性	5241	名	全体	7747	名
		女性	2506	名			
	家族		372	名	全体	496	名
	ボランティア・その他関係機関等		124	名			
	全 体 合 計	8243					

(2) 各種サービス利用状況

項 目		延べ人数	全体延べ人数
食事	男性	3042 人	4504 人
	女性	1462 人	
入浴	男性	676 人	802 人
	女性	126 人	
洗濯	男性	355 人	393 人
	女性	38 人	
インター ネット	男性	66 人	67 人
	女性	1 人	

(3) 援助方法

電話	男性	2647	件	全体	5841	件
	女性	3194	件			
面接	男性	342	件	全体	707	件
	女性	365	件			
フリースペース対応	男性	344	件	全体	655	件
	女性	311	件			
訪問・同行	男性	154	件	全体	316	件
	女性	162	件			

(4) 相談支援内容内訳

生活 (衣食住)	男性	2090	件	全体	4944	件
	女性	2854	件			
精神的不安・混乱	男性	484	件	全体	1412	件
	女性	928	件			
家族関係	男性	218	件	全体	683	件
	女性	465	件			
対人関係	男性	379	件	全体	911	件
	女性	532	件			
金銭管理・経済	男性	415	件	全体	858	件
	女性	443	件			
就労	男性	419	件	全体	1090	件
	女性	671	件			
制度・サービス	男性	1028	件	全体	2601	件
	女性	1573	件			
センター利用案内	男性	205	件	全体	395	件
	女性	190	件			
日中活動 (余暇含む)	男性	327	件	全体	709	件
	女性	382	件			
医療・健康	男性	648	件	全体	1455	件
	女性	807	件			
入院・退院支援	男性	31	件	全体	42	件
	女性	11	件			
その他	男性	411	件	全体	804	件
	女性	393	件			
複数対応	55					回
ケア会議	195					回
緊急対応	19					回

(4) 小学校との交流事業

区内小学校特別支援学級の生徒さん・先生方と季節の行事を協働で行ったり、ご利用者と小学校内菜園の採集に行くなど交流を深めました。特に夏祭りでは、生徒さんご利用者が共同して出店するなど貴重な時間を共有することができました。

夏祭り・クリスマス会等季節行事	参加者延べ61名(親除く)
-----------------	---------------

(5) 実習受け入れ

精神保健福祉士実習のみならず、公認心理士、看護師の実習も受け入れました。

実習生受け入れ人数 : 24名	受け入れ期間 : 計146日間
-----------------	-----------------

(6) 嘱託医相談

本 人	5人
全 体	7人

(7) その他事業

	自立 アシ	横浜市退院 サポート	地域移行	地域定着	計画相談支援
新規契約者数	0	3	3	1	19
総契約者数	25	11	4	1	86
電話相談	819	335	198	12	1690
面接相談	74	4	0	0	138
訪問支援	238	28	32	3	435
同行支援	77	23	15	0	53
各種会議	37	19			191
その他対応(カンファレンス)		2	3	0	289

別紙2

日付	事業名	内容	回数	人数
4月13日	卓球イベント	卓球を通じて、利用者同士の交流を図る	1	8
4月27日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	5
5月6日	卓球イベント	卓球を通して、利用者同士の交流を図る	1	6
5月13日	利用者ミーティング	利用者からのご意見等を伺う対話の機会。	1	6
5月17日	茶話会	おやつを食べながら他利用者や新しい職員との親睦を深める	1	12
5月24日	森永工場見学イベント	利用者3名が参加し、森永工場を見学	1	5
5月25日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	4
6月29日	ヨガイベント	ヨガを実施	1	4
6月29日	茶道イベント	茶道の文化に触れ、ゆったりとした時間を過ごす	1	6
7月4日	野毛山動物園イベント	仲間と外出する楽しさを知る	1	8
7月20日	ネイルイベント	一緒にネイルを楽しみながら、参加者同士の交流を深める	1	6
8月17日	ワークショップイベント	講師を招いてお話ししながらより良いコミュニケーション方法を学ぶ	1	9
8月24日	編み物イベント	講師を招いての編み物、飾り作成	1	2
8月24日	ヨガイベント	ヨガクラス実施	1	6
8月30日	イベント打ち合わせ	地域交流事業の鶴見アトリエアリスの担当講師とイベント打ち合わせ	1	1
8月31日	納涼祭	参加者で流しそうめんを楽しむ	1	10
9月2日	ボウリングイベント	ラポール新横浜にてボウリングを楽しむ	1	7
9月7日	ヨガイベント	ヨガを通して身体を動かす	1	8
9月16日	お月見イベント	白玉団子を作り、お月見の季節を楽しむ	1	9
9月21日	手話イベント	手話に触れていただきながら、手話でコミュニケーションを取る	1	6
9月23日	一人暮らし応援ご飯イベント	安価な材料で調理の体験	1	5
9月28日	ポッチャイベント	町内会の方々にルールを教えて頂きながら、ポッチャに触れ交流する	1	11
10月5日	ワークショップイベント	朗読会とお絵描きリレーを行う	1	7
10月7日	編み物教室	講師の先生をお呼びし、少人数で編み物を教わる	1	3
10月12日	スポーツイベント	フットサル・バドミントンで身体を動かす	1	9
10月15日	三ツ池公園イベント	三ツ池公園を散策	1	2
10月21日	編み物教室	講師の先生をお呼びし、少人数で編み物を教わる	1	2
10月26日	ハロウィンイベント	豊岡町内会主催のハロウィンイベントに参加し、子供たちにお菓子を配る	1	6
10月31日	編み物イベント	かぎ編み針を用いて編み物に取り組む	1	9
11月4日	手話イベント	好きな物や職業の表現方法を知り、手話で表してみる	1	8
11月11日	利用者ミーティング	下半期利用者ミーティング	1	9
11月16日	芸術イベント	アトリエアリス講師をお招きし、秋の絵を描く	1	12
11月21日	キャンドルホルダー作りイベント	地域で行われるクリスマスランタンフェスタに展示するキャンドルホルダーを作る	1	9
11月22日	森永工場見学イベント	森永工場へ見学に行く	1	4
11月23日	ヨガクラス	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	4
11月30日	キャンドルイベント	地域で行われるクリスマスランタンフェスタに展示するキャンドルホルダーを作る	1	6
12月14日	卓球イベント	卓球に取り組み身体を動かす	1	5
12月21日	クリスマス会	クリスマスの食事を提供、近隣小学校生徒とビンゴ等で交流	1	70
12月28日	餅つきイベント	利用者の方にも一緒にお餅をついていただき、皆で食べる	1	21
12月28日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	1
1月4日	総持寺お参りイベント	初詣イベントを総持寺にて実施	1	11

1月6日	新年会イベント	お雑煮を提供し百人一首を行いお正月を味わう	1	10
1月11日	ワークショップイベント	講師を呼んで発声練習や、口角の使い方を学ぶ	1	12
1月13日	書道イベント	好きな言葉を選択し毛筆で作品を作成する。	1	6
1月18日	手話イベント	指文字の練習。手話うたに挑戦し、手話に触れる	1	11
1月20日	ボールペン作りイベント	女性利用者だけでハーバリウムボールペンを作りながらゆったり話す	1	8
1月25日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	5
1月29日	イングリッシュガーデンイベント	イングリッシュガーデンへ外出の機会を図る	1	7
2月1日	節分イベント	恵方巻をそれぞれ手作りし、皆で食べる	1	9
2月8日	スポーツイベント	ソフトボールで身体を動かす	1	9
2月13日	バレンタインイベント	チーズフォンデュやチョコフォンデュを楽しみながら利用者同士の交流を図る	1	8
2月17日	編み物イベント	講師をお呼びして編み物を教えてもらう講座	1	6
2月22日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	6
3月8日	ワークショップイベント	講師を呼んでコミュニケーションの基礎を学ぶ	1	8
3月14日	ホワイトデーイベント	パフェを食べながら、同性同士で交流	1	2
3月29日	ひとり暮らし応援ご飯イベント	安価な食材を用いて調理	1	5
3月29日	ヨガイベント	ヨガポーズを通して身体を動かす	1	8
7月27日	ハーモニーとよおか夏祭り	地域向けに夏祭りを開催	1	225
10月12日	矢向地区秋祭り	地域づくり会議として、秋祭りにて普及啓発活動	1	1
10月25日	家族会バスハイク	深大寺と神代植物公園を参加者とともに巡る	1	9

令和6年度 鶴見区精神障害者生活支援センター収支決算書
(総括版)

自令和6年4月1日 至令和7年3月31日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	決算額のうち 法人負担金額	差 額	備 考
Ⅰ 収入の部					
1 指定管理料収入(当初)	78,426,000	76,741,000		1,685,000	
2 指定管理料収入(変更)				0	
3 法人負担金	▲ 1,100,000	1,100,000	1,100,000	▲ 2,200,000	
4 相談支援事業に要した交通費収入				0	
5 自立支援給付費収入		7,592,664		▲ 7,592,664	
6 食事サービス収入		2,085,000		▲ 2,085,000	
7 入浴・洗濯・インターネットサービス収入		130,090		▲ 130,090	
8 その他の実費収入など(横浜市障害福祉施設等物価高騰対策支援金等)		258,588		▲ 258,588	障害者雇用助成金
収入合計	77,326,000	87,907,342		▲ 10,581,342	

Ⅱ 支出の部					
戻入精算	1 人件費	67,896,000	69,591,167	1,100,000	▲ 1,695,167
	所長				
	常勤職員				法人持出全常勤化
	非常勤職員	9,644,000			9,644,000
	アルバイト	4,800,000	4,985,306		▲ 185,306
	調理アルバイト	2,800,000	2,436,649		363,351
	嘱託医賃金	968,000	967,680		320
	法定福利費	7,361,000	8,699,080		▲ 1,338,080
	退職金給与引当金	1,867,000	2,004,660		▲ 137,660
	福利厚生費	96,000	88,500		7,500
	労務厚生費	224,000	81,401		142,599
					職員健診
	2 施設管理費	4,240,000	4,508,847	0	▲ 268,847
	光熱水費	1,800,000	1,707,505		92,495
	庁舎管理費	2,500,000	2,931,432		▲ 431,432
	利用者負担金充当金	▲ 60,000	▲ 130,090		70,090
					有料サービス費収入
	3 運営費	3,705,000	4,441,462	0	▲ 736,462
	旅費	720,000	1,086,905		▲ 366,905
	消耗品費	750,000	700,365		49,635
	印刷製本費	100,000	141,635		▲ 41,635
	修繕費	200,000	117,560		82,440
	通信運搬費	650,000	830,135		▲ 180,135
	賃借料	360,000	342,840		17,160
	備品等購入費	500,000	778,786		▲ 278,786
	保険料	175,000	143,672		31,328
	雑費	250,000	299,564		▲ 49,564
	4 本部繰入金	2,000,000	3,051,478		▲ 1,051,478
					本部人件費按分
	5 食事サービス費の支出		2,036,941		▲ 2,036,941
	6 その他の実費からの支出		0		0
	支出合計	78,941,000	83,629,895	1,100,000	▲ 5,788,895

Ⅲ 戻入の部			
人件費戻入精算分	0		
戻入合計	0		